

管理職 各位

東村山市長 渡 部 尚

### 令和3年度予算編成方針

令和3年度は、今後10年間を計画期間とする東村山市第5次総合計画に基づき、新たな将来都市像である「みどり にぎわい いろどり豊かに 笑顔つながる 東村山」の実現に向けてスタートする非常に重要な年であり、今後の人口減少や少子高齢化、科学技術の進展や社会環境の急激な変化が見込まれる中、先人たちにより培われた財産や魅力を守りながら、市民の笑顔が未来につながるまちづくりを進めることが重要である。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響は、人々の生命や生活のみならず、社会、経済、国際政治等にまで波及し、行動規範や価値観といった側面にも変化をもたらすなど、多方面へ甚大な影響を与えており、国が示す「経済財政運営と改革の基本方針2020」では、日本はまさに時代の大きな転換点に直面しており、この数年の思い切った変革が実行できるかどうか、日本の未来を左右すると示されるとともに、新たな日常・ニューノーマルを見据えた行政分野でのデジタル化・オンライン化への対応が急務とされている。

既に地域経済やコミュニティのあり方の変容などの影響が顕在化し、さらに今後は、税収の落ち込みや、さらなる社会保障経費の増加などの影響が大きく表れ、財政硬直化の一因となることが懸念されるなか、市民の生命と財産を守り、住みよい地域環境をつくっていくという基礎自治体の使命のため、新たな日常や経済活動の状況を注視し、未曾有の事態を将来に向けた転機と捉え、持続可能なまちづくりのためにスピード感をもって自ら進化を続けていくことが必要である。

以上の認識を踏まえ、令和3年度予算を「新たな総合計画の将来都市像の実現に向け、コロナ禍を乗り越え、持続可能で安定した都市経営を目指す予算」と位置づけ、以下に掲げる事項を重点とし、令和3年度予算を編成する。

- ・持続可能性や包摂性といったSDGsの趣旨を踏まえ、総合計画の基本目標であるまち、ひと、くらしの側面からまちづくりの好循環の創出に資する取組を行うこと。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、喫緊の課題に対する早期克服を目指すとともに、既に顕在化している諸課題への確に対応しながら、長期的な展望を持ってまちづくりの持続可能性や地域の回復力、弾力性を高めること。
- ・新たな日常など状況の変化を十分に見据え、市民サービスのデジタル化、オンライン化といったICTの活用や、公民連携の推進によって行政手法のイノベーションにスピード感を持って取り組み、業務継続性の確保とともに、生産性の向上や創造性の発揮に努めること。

管理職 各位

東村山市副市長  
野 崎 満  
松 谷 いづみ

### 令和3年度予算編成留意事項（依命通達）

令和3年度予算編成にあたっては、「令和3年度予算編成方針」（令和2年10月5日付 2通達第3号）に基づき、下記事項に留意のうえ、予算編成を行うこととする。

#### 記

##### 全般的留意事項

1. 総計予算主義による的確な捕捉を行うこと。
2. 見積りにあたっては、財源の確保、事業内容の精査を行う等、最少の経費で最大の効果があげられるよう検証すること。
3. 国・都の動向については、十分に情報収集し、的確に予算を見積ること。
4. 令和元年10月1日より実施されている消費税の軽減税率制度を踏まえ、適切に予算を見積ること。
5. 事業が法令に基づくものは、当該法令名称や実施主体、経費負担の原則等を明らかにすること。
6. 行財政改革大綱に基づく所要の経費は、効果等もあわせて見積ること。
7. 実施計画事業等の位置づけのない新規・レベルアップの経費は、特段の理由がない限り要求不可とする。要求する場合は目的、必要性、緊急性、後年度の財政負担等を検証し、財源の捻出を前提として見積ること。
8. すべての事業について、公民連携などを含め、あらゆる事業手法を検討したうえで、最大の効果が得られる施策を構築すること。
9. 多様な発注方式や民間の技術提案の活用も含め検討し、予算を見積ること。
10. 部局間調整および部内調整が必要な経費や収入の見積り・予算充当については、重複、遺漏がないように調整すること。
11. 政策間連携により相乗効果を得られる経費や、職員の働き方改革の効果を市民サービスに還元できる経費は、積極的に見積ること。
12. 民間事業者提案制度で採択された提案については、提案者との詳細協議の内容を踏まえて事業化に必要な予算を見積ること。
13. 市民要望、決算特別委員会等での意見、監査委員等からの指摘事項、採択された請願等に対しては十分検討すること。

- 1 4. 特別会計は、一般会計と同様に、経費を徹底して精査し予算を見積ること。当該特別会計を設置した原則に基づき、経営の一層の効率化、自主財源の確保を図り、一般会計からの繰入を可能な限り圧縮するよう努めること。
- 1 5. 後年度の財政負担を伴うものは、継続費及び債務負担行為の設定が必要であることに留意し、設定に当たっては事前に財政課と協議すること。
- 1 6. まちづくりの好循環の創出に資する取り組みのため、東村山市第5次総合計画の基本目標及び目指す姿に則し、目標達成に向け十分検討し、予算を見積ること。
- 1 7. 新型コロナウイルス感染症に係る諸課題への対応については、国・都及び市内の動向を注視し、必要性や効果、事業範囲を十分に検討し、予算を見積ること。
- 1 8. 新たな日常を見据え、行政分野でのICTの活用等の行政手法のイノベーションに際しては、従来手法にとらわれることなく、十分に検討を行うこと。

## 個別的留意事項

### 1. 歳入予算の積算

- (1) 市税は、税制改正、市民所得の状況、経済情勢の変化などを的確に捕捉し、適正な収入額を見積ること。
- (2) 国・都支出金は、国や都の新年度予算の動向に特段の注意を払い、特に補助金等の創設、拡充、廃止、縮減、制度変更、補助率の変更等の情報収集に努め、積極的な確保に努めること。なお、補助金等の廃止、縮減がある場合は、事業の廃止、見直しを検討するとともに、他の財源の確保に努めるなど安易に一般財源への転嫁は行わないこと。
- (3) 市債は、後年度の財政負担・国の地方債計画・充当率等を考慮し、充当予定事業がある場合には、財政課と調整すること。
- (4) その他の収入
  - ・法令等に基づくものは、制度改正の動向に留意し的確に見積ること。
  - ・使用料・手数料は、実績等に基づき適切に見積ること。また、行政財産の目的外使用許可に伴う使用料については、令和元年8月29日付通知「行政財産の目的外使用における使用料及び許可の取扱いについて」に基づき、適切に予算を見積ること。
  - ・滞納、未収金の整理に努めつつ、収入の増額を図ること。
  - ・普通財産や行政目的を終えた行政財産等の処分可能な土地・財産は、積極的に売却・活用を検討すること。
  - ・新たな財源確保について、積極的に検討し財源の創出に努めること。

## 2. 歳出予算の積算

- (1) 予算積算のための参考見積書を求める場合は、あらためて仕様・数量等の精査を行ったうえで徴取し、徴取した参考見積書については、担当所管において明細・内訳を確認すること。

原則として複数の参考見積書や他市予算、カタログ、市場価格などと比較し、主体性をもって予算の積算に努めること。

※予算積算のための参考見積書とは、庁内の検討用資料として活用するために見積りを行い、その内容を記した書類を指す。依頼先には徴取する目的が「予算積算のため」であることを明確にし、依頼すること。

- (2) コンピュータ機器及びシステムの導入は、情報政策課（情報化推進委員会）との調整を経たうえで見積ること。なお、稼働中のシステムについても、その利用状況、費用対効果を厳しく精査し、経費の縮減に努めること。
- (3) 各節の経費は、予算編成事務要領に留意して見積ること。令和3年度予算見積単価表によるべきものは当該単価により見積ること。すべての経費について、実績等に基づいた合理的な見積りを原則とすること。